

課題名：レンコンの生産性向上

ねらい

管内で栽培されているレンコンの主な品種は「備中」種で、品質がよく、市場の評価が高い反面、腐敗病に弱い。また、晩生種であることから、レンコンが肥大する前に台風が襲来すると地上部が傷み、収量や品質が低下するため問題となっている。

また、土壌病害の発生等により反収が低下しているため、太陽熱消毒の普及による被害の軽減や施肥体系の改善について検討を行います。

活動地域・対象

地域：鳴門市、松茂町、北島町、藍住町、板野町、徳島市
対象：レンコン栽培農家

普及活動の目標

- ①レンコン新品種の育成
- ②太陽熱消毒の普及による土壌病害虫被害の軽減
- ③施肥体系の改善

目標に向けた活動概要

- ①レンコンの新品種を育成するため、生産者のほ場において現地選抜試験を行いました。
- ②レンコン田で太陽熱消毒技術を普及するため、作業の省力化について検討しました。
- ③カリ施肥量が生育や収量に及ぼす影響、カリ肥料の流し込み施肥について検討しました。



レンコン新品種現地選抜試験



太陽熱消毒省力化試験



フィルム除去作業の省力化



カリ施肥量試験

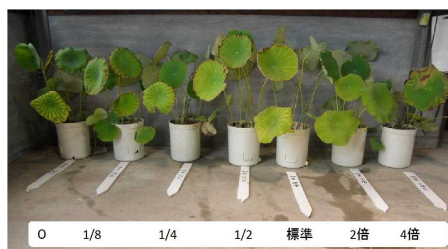
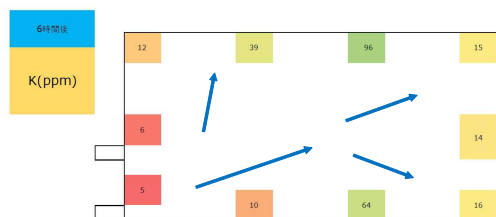
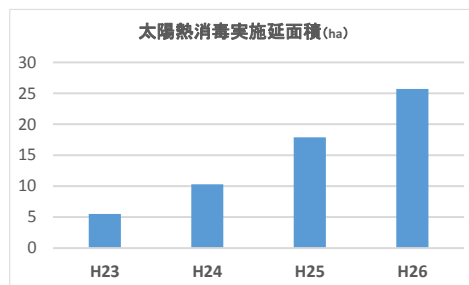


カリ肥料の流し込み



カリ肥料の流し込み

普及活動の成果



- ①レンコン新品種 8/13に早晩性について評価, 3月下旬に収量, 品質の調査を行います。
- ②太陽熱土壌消毒 太陽熱消毒を推進し, 平成26年度は約7.8ha実施されました。
- ③施肥体系の改善 流し込み施肥については, レンコンが繁茂し, 人が入れない状況でも追肥が可能でした。

用語説明
 レンコン腐敗病：レンコンの地下茎が褐変, 腐敗する病気で, 被害の大きいほ場では収穫ができなくなることもある。
 レンコン田用太陽熱消毒：7～8月の盛夏期にレンコンのほ場全面を透明フィルムで覆い, 土壌消毒を行う。
 流し込み施肥：液体肥料または個体の肥料を灌漑水と一緒に流し込む追肥法。

今後の発展方向

- ①レンコン新品種 次年度生産者のほ場で現地適応性試験を実施し, 評価が良ければ品種登録について検討を行います。
- ②太陽熱土壌消毒 フィルム被覆作業の省力化だけでなく, 除去作業の省力化についても検討を行います。
- ③施肥体系の改善 次年度も流し込み施肥等について検討します。

関係者からの声

- レンコンの新品種を早く出してほしい。(生産者)
- 太陽熱消毒は透明フィルムの被覆作業だけでなく, 除去する作業にも労力がかかる。(生産者)
- 流し込み施肥なら労力がかからないので取り組んでみたい。(生産者)

高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922